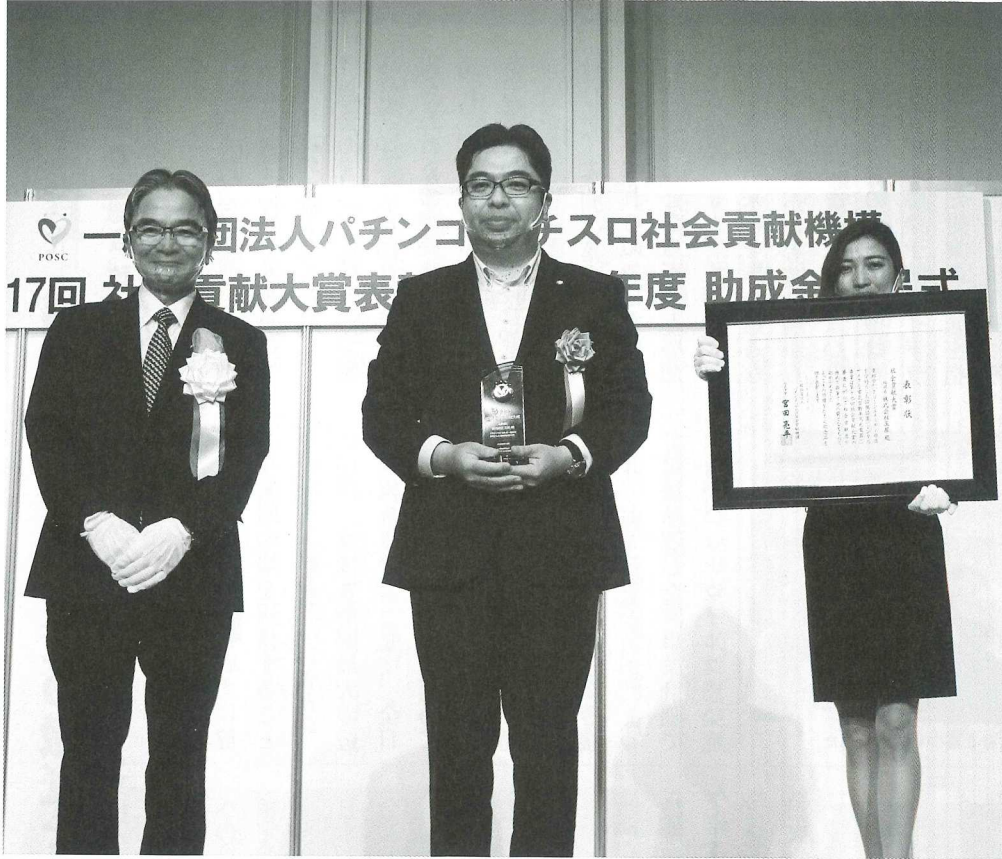


パチンコ・パチスロ社会貢献機構が社会貢献大賞の表彰式と助成金贈呈式

大賞に玉屋の「クリーンエネルギー推進事業」



パチンコ・パチスロ社会貢献機構の宮田亮平代表理事から社会貢献大賞を受賞した玉屋の山口智也専務取締役・経営企画本部長（中央）に表彰状と盾が贈られた

パチンコ・パチスロ社会貢献機構は7月21日、都内新橋の第一ホテル東京で社会貢献大賞の表彰式と助成金贈呈式を開催した。

社会貢献団体機構は平成17年、全日遊連が中心となって傘下組合や組合員ホールの社会貢献活動を顕彰するため設立、2019年にそれまでの名称から現在の「パチンコ・パチスロ社会貢献機構」に変更した。表彰式ならびに助成金の贈呈式は今回で17回目を迎える。

冒頭に挨拶した宮田亮平代表理事は、「パチンコ業界はコロナ禍の厳しい状況のなかでも、積極的に社会貢献活動に取り組んでいる。今後も業界の皆さんの社会貢献に対する想いの強さを多くの方に知って頂けるように精一杯努力していきたい」と述べた。

今年の社会貢献大賞には28都府県方面組合から72件の申請が寄せられ、3月の第1次審査委員会と4月の審査委員会での審査を行った結果、大賞には福岡県遊協の株式会社玉屋による「クリー

ンエネルギー推進を目的とした設備設置（レンタルサイクル・電動自動車用充電器）事業」が選ばれた。

玉屋では、福岡市が進めるエネルギー政策に共感し、地球温暖化やCO2の削減に向けた取組みとして、都市部店舗を中心に店舗の駐輪場にレンタルサイクル用のポートを17台分、電動キックボード用のポートを4台分、本店立休駐車場に電気自動車用充電器3台分を設置。地球温暖化対策は国を挙げた課題であり、全国で展開できる活動であることが高く評価された。

大賞を受賞した玉屋の山口智也専務取締役・経営企画本部長は、「当社は福岡の小さな企業なので社会貢献という大きなことはできませんが、玉屋に行っていたよかったです」と述べている。地域の存在感を伝えるために地域貢献活動が続けてきました。今回このような賞をいただいたことは非常に励みになります。今後も小さい活動から徐々に活動を広げ、社会に貢献していける企業に成長できるように努めてまいります。

■ 都府県方面部門最優秀賞【茨城県遊協】
「新型コロナウイルス感染症に伴う職域接種」事業



組合員ホールの従業員・アルバイト及びその家族を対象にワクチン接種を無料で実施。2回目は約3000人分のワクチンが余ることが判明したことから、県内外の県遊協や関係団体に働きかけたことで応募が殺到し、各方面から感謝された。一般の大規模接種は18歳以上だったことから12歳以上を対象としたことが評価された。



茨城県遊協
李晃明副理事長

■ 社会貢献大賞【株式会社玉屋】
「クリーンエネルギー推進を目的とした設備設置
(レンタルサイクル・電動自動車用充電器)」事業



地球温暖化やCO2の削減に向けた取組みとして、都市部店舗を中心に店舗の駐輪場にレンタルサイクル用のポートを17台分、電動キックボード用のポートを4台分、本店立体駐車場に電気自動車用充電器3台分を設置。同社では「クリーンで強いアワーカンパニーを目指して」を企業理念に掲げて幅広い社会貢献活動を展開している。

■ 組合員ホール部門最優秀賞【株式会社ダイナム】
「学校サポート～光触媒スプレアの寄贈と施工～」事業

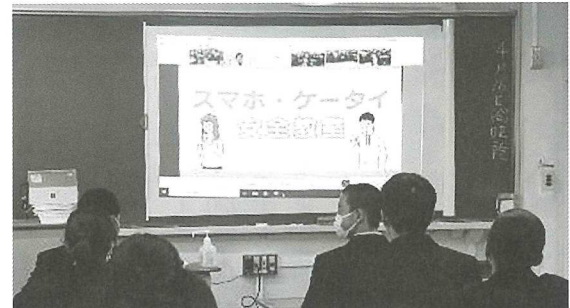


ダイナムの店舗の周辺にある全国40県92校に光触媒スプレアを寄贈。ダイナムの従業員が各校に出向き、学校職員やPTAとともに、生徒の利用頻度が高い教室の机やすい、スイッチ類、体育館や階段の手すり、トイレなどへ2～3時間かけてコーティング作業を実施した。これをきっかけに社会貢献活動の幅が広がった。



ダイナム岐阜本店
奈良泰輝
ストアマネジャー

■ 支部組合部門最優秀賞【岐阜県遊協 岐阜支部】
「市立高校に対するオンライン授業設備整備
(プロジェクター・スクリーンの寄付)」事業



コロナ禍でオンライン授業環境が整備されていない県内唯一の岐阜市立岐阜商業高等学校の1年生全4クラス分を寄贈。他の高校と同様に安全・安心な環境で授業を受けられるように、プロジェクターとスクリーンのセットを設置にかかる費用も負担し、同校の生徒がオンライン授業を受けられる環境を整備した。



岐阜県遊協
清水達浩副理事長



閉会にあたり挨拶した
阿部恭久理事長



閉会の挨拶をした
宮田亮平代表理事

「SDGsの視点からより良い社会を作ろうと活動する団体にも助成をさせていただきますました。今後も世相を敏感に反映しながら必要な分野への支援を行ってまいります」と述べた。

部門別の最優秀賞には、都府県方面部門に茨城県遊協の「新型コロナウイルス感染症に伴う職域ワクチン接種事業」、支部組合部門に岐阜県遊協岐阜支部の「市立高校に対するオンライン授業設備整備(プロジェクター・スクリーンの寄贈)事業」、組合員ホール部門に都遊協の株式会社ダイナムの「学校サポート」光触媒スプレアの寄贈と施工「事業」が選ばれた。

「ます」と語った。

共同助成

| 助成組合 | 助成団体 | 事業名 |
|--------|----------------------------|--|
| 札幌方面遊協 | 公益社団法人 心の里親会・奨学会 | 「児童養護施設で生活する児童への支援活動」事業 |
| 福島県遊協 | 一般社団法人 ヴォイス・オブ・フクシマ | 「福島の人々の声から学ぶ震災への教訓 『読む Voice Fukushima』」事業 |
| 千葉県遊協 | 特定非営利活動法人 千葉こども家庭支援センター | 「HSC が活躍できる環境づくり推進」事業 |
| 三重県遊協 | 特定非営利活動法人 三重ダルク | 「ギャンブル、ゲーム関連問題を抱える人たち支援する 三重ダルクスタッフのスキルアップのための研修」事業 |
| 兵庫遊協 | 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレージ | 「ギャンブル等依存症者及びその家族への総合的継続支援」事業 |
| 長崎県遊協 | 特定非営利活動法人 ちゅーりっぷ会・長崎ダルク | 「依存問題に関わる人々の交流を深めよう 『ながさき海プロジェクト』」事業 |
| 沖縄県遊協 | 一般社団法人 むらワーカーズホーム | 「6次産業化によりパチンコ、パチスロを依存問題を持つ方への 社会参加の場を提供する」事業 |



千葉県遊協が助成した「特定非営利活動法人千葉こども家庭支援センター」



福島県遊協が助成した「一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ」



札幌方面遊協が助成した「公益社団法人心の里親会・奨学会」

当日は共同助成、一般助成、特別助成、特命助成の4つのジャンルの助成認定証贈呈式も行われ、24団体に計3580万円の助成を行った。このうち共同助成は、7つの組合から事業者に助成金が贈られた。

共同助成と特別助成、特命助成では、主に依存問題の予防解決に向けた取組みや研究を行っている事業者が対象になっているが、今年度の共同助成では、子どもの健全育成に向けた支援活動や災害復興支援を行っている事業者への助成も行われた。

札幌方面遊協が助成した「公益社団法人心の里親会・奨学会」は、児童養護施設で暮らしている子ども達の精神的支援をする目的で月1回程度の文通事業を行っているほか、就学する子どもにも入学時に必要な支援を行う入学祝寄贈事業を行っている。

また、福島県遊協では「一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマ」を助成した。同法人では、東日本大震災で大きな被害を受けた福島の人々の声から学ぶ震災の教訓「読むVoice of Fukushima」の制作事業をはじめ、映画上映会や被災者の交流会イベントも実施している。

千葉県遊協が助成した「特定非営利活動法人千葉こども家庭支援センター」では、刺激や人の気持ちに敏感な子ども達（HSC）の気質を理解し、サポー



依存問題の予防と解決に取組む事業で助成を受けた「仙台夜まわりグループ」(左)と「ワンダーポート」(右)

トするための方法を学ぶフリースクールの運営や不登校児童とその家族に対する日常生活や学習支援を行っている。

このほか共同助成には、三重県遊協が「特定非営利活動法人三重ダルク」、長崎県遊協が「特定非営利活動法人ちゅーりっぷ会 長崎ダルク」、沖縄県遊協が「一般社団法人むらワーカーズホーム」の助成を行った。

依存問題の予防と解決に取組む事業・研究への支援では、「特定非営利活動法人仙台夜まわりグループ」「認定特定非営利活動法人ワンダーポート」、特別助成には「依存問題についての理解を深めるフォーラム実行委員会」「ギャンブル等依存症について考えるシンポジウムin長崎実行委員会」、特命助成には「特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク」を助成した。